

ふくちのち

2022

ミニ企画展

平和を考える

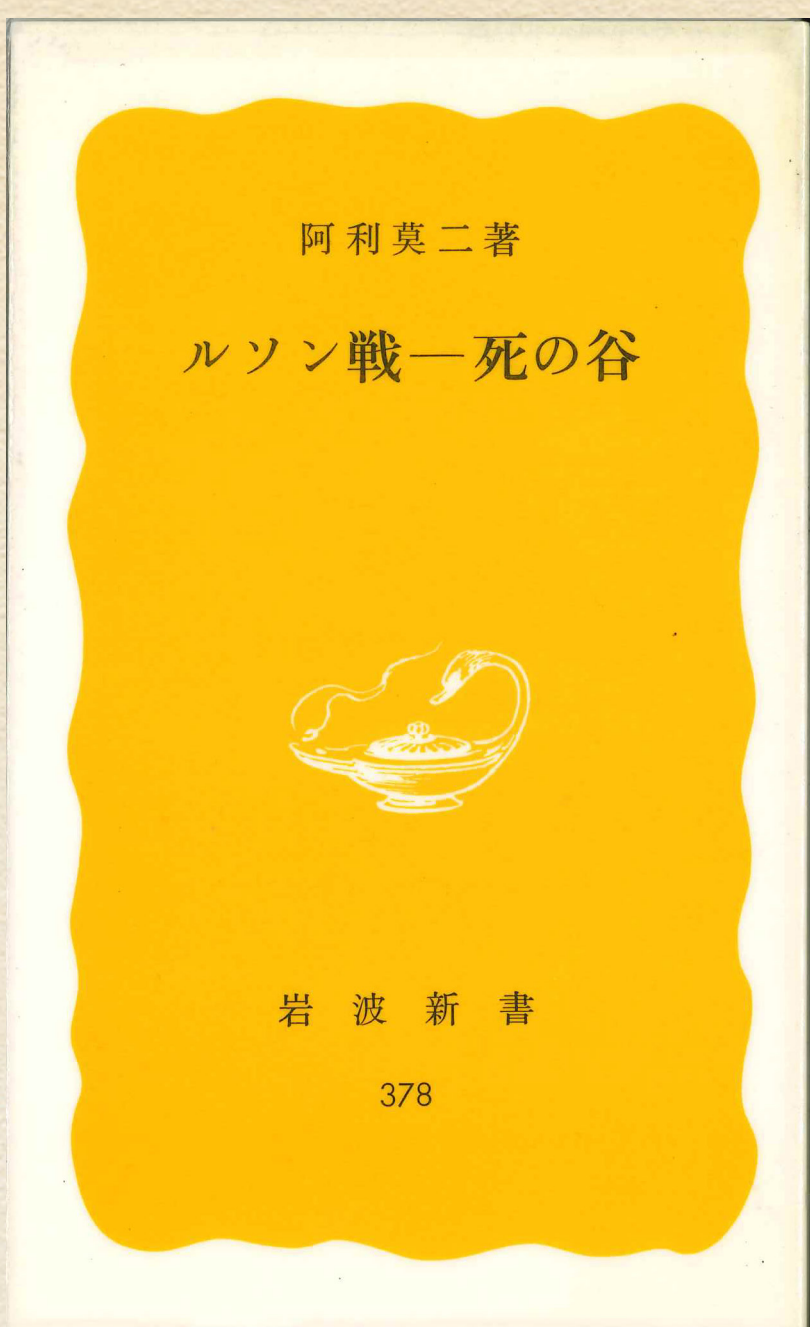
期間 七月二日(土)～

八月三十一日(水)

会場 ふくちのち一階カウンター横

時間 午前十時～十七時半

休館 毎週火曜・八月一日(月)



私達は、ルソン戦で知った戦争の姿を、「もし生きて帰ったら、必ず故国の人に語り告げる」ことを戦場で約しあった。その約束は未だ果たされていない。いまだに語りをはばかることもある。その意味でも、「戦争は終わった」かも知れないが、私達にとって終戦はまだ続いているのである。

一九八七年三月

阿利莫二著「ルソン戦—死の谷」あとがきより抜粋

阿利莫二氏は法政大学の総長を務めた政治学者で、一九四三(昭和一八)年の学徒出陣でレイテ戦へ投入された学徒兵の一人です。戦後四十年以上経ちその時の記憶を著書としてまとめられました。その後、学徒出陣で戦時下学生への卒業証書授与など戦争と向き合う活動がされました。

たまたま手に取った本ですが、戦争を体験した人はたとえ戦争が終わっても、その体験を記憶として語ることが難しい。戦争というものはそれほど人の心に大きな傷を作ります。

今回のミニ企画展では、福智町所蔵の戦争にかかわる資料と戦争にかかわる本を展示しています。

この機会に平和や戦争を考えてみませんか。

主催：福智町教育委員会

問合せ：福智町教育委員会 ☎ 0947-28-9111